

2025 年度 日本都市学会第 1 回理事会議報告

2025 年度第 1 回理事会は、2025 年 7 月 6 日（日）13 時 30 分から対面（於：名古屋都市センター）とオンラインで開催されました。出席者は、山崎健会長、磯部友彦、井澤知旦、石川雄一、松本行真、西野淑美、児玉浩嗣、阿部亮吾（以上対面出席）、松村茂、増田聡、土居洋平、久隆浩、田中晃代、豊田哲也、山下宗利、野村理恵、佐野光彦、川瀬正樹、車相龍（以上オンライン出席）の各理事、および大塚俊幸（オブザーバー、対面出席）です。議事の概要は次の通りです。

■議題 1 理事の異動について

各地域都市学会選出理事に異動がありました。

■議題 2 学会賞担当事務局からの報告

学会賞担当事務局より、各賞推薦状況として、奥井記念賞（日本都市学会賞）1 件、論文賞 2 件、特別賞（外国語著作賞）0 件、まちづくり賞・学術共同研究賞 0 件の報告がありました。各地域都市学会から推薦された奥井記念賞、論文賞の選考委員構成の報告があり了承されました（後掲）。ついで、奥井記念賞選考委員長に野村理恵理事を、論文賞選考委員長に西野淑美理事が選任され、今後のスケジュールについて説明がありました。また、特別賞（外国語著作賞）の審査対象刊行年次に関する規定の改定の説明があり、了承されました。なお、本年度より学会賞事務局が東北都市学会から中四国都市学会へと引き継がれる旨、報告がありました。

■議題 3 年報担当事務局からの報告

年報事務局より、年報第 58 号発行の遅延について報告がありました。また、本年度より年報担当事務局が近畿都市学会から関東都市学会へと引き継がれる旨、報告があり、あわせて年報のバックナンバーのデジタル化と J-STAGE への登録作業について検討中であることが報告されました。（詳細は前掲の「J-STAGE 公開に向けた検討状況」を参照）

■議題 4 論文審査担当事務局からの報告

論文審査担当事務局より、2024 年度論文審査の結果報告があり、あわせて 2025 年度の投稿〆切が 2025 年 11 月 30 日である旨、周知のお願いがありました。なお、論文審査委員構成に変更はありません。また、学会発表時点で 2 本であったものを、年報への投稿の段階で統合して 1 本にしてもよいかどうかといった問い合わせがあり、議論を経て以下のように回答することになりました。「2 本の学会発表をすると、それぞれに査読論文への投稿の権利を得るが、そのうち 1 本の権利を放棄することは発表者の判断で可能とする。今回のケースは、2 本とも査読論文に投稿した場合、査読作業の際に内容に関して査読者が何らか

の違和感を抱くかもしれないことを懸念したものと思われる。また、学会発表後、投稿までの間にその作業過程で放棄した内容を取り込んで内容をグレードアップし、1本の論文を作成することもありうる。なお、学会としては、発表数も、査読論文も、数が増えることを歓迎する」。

■議題5 第72回大会について

大会担当事務局より、2025年度大会のテーマを「スポーツとまちづくり」とする開催案の報告があり、審議の結果、九州都市学会の開催案が了承されました。

■議題6 第73回大会について

中四国都市学会より、第73回大会を徳島市で開催予定であるとの報告がなされました。

■議題7 その他

本部事務局より、2024年度の決算報告と2025年度の予算案について報告がありました。ただし、監査手続きが完了していないため、改めて9月の理事会にて最終報告がなされる予定となっています。